

安全データシート

整理番号 SF-1488 (初版)

作成日： 2020年 11月 30日
改訂日：

1. 製品名及び会社情報

会社名
住所 (本社)
担当部門
電話番号
FAX
緊急連絡先

製品名 PVC 防炎 (圧着透明) #360

2. 危険有害性の要約 分類基準に該当しない。但し、消防法の基づく「指定可燃物」の中の合成樹脂類に該当。
GHS分類 : 分類対象外。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合品
化学名 : ポリ塩化ビニル

成分	含有量	官報公示 整理番号	CAS番号	安衛法 通知物質※1	PRTR 該当物質
ポリ塩化ビニル	60~80%	6-0066	9002-86-2	—	—
リン酸オクチルジフェニル	5~25%	3-2520	1241-94-7	—	2-099

※1 安衛法通知物質 : 労働安全衛生法施行令第18条の2別表第9に従う。(2016年6月1日改正による。)

4. 応急措置

目に入った場合 : 切かす等が目に入ったときは取り除き、清浄な水で洗浄し、痛みがある時は、医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合 : 取り除く。
吸入した場合 : 痛みや気分悪い等の症状がある時は、医師に相談する。
飲み込んだ場合 : 可能なら吐かせる。痛みや気分が悪い等の症状がある時は、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を用いて問題ない。
但し、燃焼すると塩化水素、一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスが発生し、塩化水素は刺激性があるので消火作業は風上から行い、燃焼ガスに暴露される恐れがある時は、空気呼吸器、保護眼鏡を着用する。
消火剤 : 水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、アルコフォーム

6. 漏出時の措置

: 通常固形物なので漏出することはない。

2020-S0826 Ver 1.52

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意 : 重量物のため、転倒、落下、荷役等に注意すること。
過酸化物質など分解を促進する物質との接触を避ける。
加工作業中に発生する静電気は、接地する等の静電気除去対策を行う。
300℃以上の高温に暴露しない。
- 保管上の注意 : 直射日光、水濡れ、高温多湿の場所を避けて保管すること。
消防法の指定可燃物が適用される。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 設定されていない。
設備対策 : 加熱する時は、局所排気をする。
保護具 : 必要に応じて以下の保護具を着用する。
・呼吸保護具
・保護眼鏡
・保護手袋

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 透明フィルム
沸点、蒸気圧、揮発性、融点 : データなし
比重 : 1.2 ~ 1.4 g/cm³ (23℃)
溶解度 : 水に不溶。但し、トルエンなどの油類により膨潤すると共に、
可塑剤が溶出する。
自己反応性・爆発性 : なし。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 常態での取扱い、貯蔵においては安定。
危険有害反応の可能性 : 燃焼すると刺激性のガスが発生する。(ガス主成分: HCl, CO, CO₂)
避けるべき条件 : 火気に近づけない。300℃以上の高温に暴露しない。

11. 有害性情報

不明。 但し、有害を示す事例はない。

12. 環境影響情報

- 分解性、蓄積性、魚毒性 : 不明。

13. 廃棄上の注意

廃棄物は原則として、焼却又は埋め立てによって処理する。焼却する場合は、適切な焼却設備を用い、「大気汚染防止法」等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。
埋め立てる場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に従って処理する。

14. 輸送上の注意

- 国連分類・番号 : 該当しない。
国内規制 : 該当しない。
輸送の安全対策 : 製品の荷崩れ防止、傷つけ、梱包の破損、水濡れには十分に注意する。車輛、船舶には保護具を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

15. 適用法令

- 消防法 : 指定可燃物 (指定数量 3,000kg以上)

16. その他

記載内容は、現時点で入手できる試料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険性についてはいかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の手取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上でのご使用をお願いします。